

トラブルシューティング

故障かなと思った時、修理に出される前にもう一度取扱い説明書をお読みになり、下記の部分を点検して下さい。

- モーターやバッテリーの配線は、説明書通り正しく接続してありますか？
- 本機の設定が目的通りに設定できていますか？
- 説明書内のシャーンシ搭載上の注意を守って、取り付けていますか？
- バッテリーは充電してありますか？

* 以上のチェックをしても症状が改善しない場合は、本体の故障が考えられますので、下記の手順に従って修理をご依頼下さい。

尚、大変危険ですから決してご自分で分解・修理等はいしないで下さい。

修理について

修理をご依頼される場合は、本体にPOWERSシール剥がさないで下さい。また、修理に出す時は不具合の症状を、できるだけ詳しく書かれたメモ等を添付の上、商品購入販売店にご依頼下さい。

点検の結果、異常が無いと判断された場合（もしくは修理不能の場合）でも工賃、諸経費等は請求させて頂きまますのであらかじめ御了承下さい。

また、分解したと判断された場合は修理をお断りする場合があります。

修理代金（送料、手数料別）は最高 ¥14,000の内部ユニット交換が上限ですが、もしこれ以下の修理上限金額をご希望の場合は、修理を出す際に販売店にご連絡下さい。

動作方式 ----- 前進 / ブレーキのみ	ピーク電流 ----- 500A以上
制御チップ ----- マイクロプロセッサ	ロス抵抗 ----- 0.0007Ω
使用可能電圧 ----- 48V (4-8セル)	セットアップ ----- ワンタッチ式 + デジタルLED
使用可能モーター ----- 市販電動カー用は無制限	寸法重量 ----- 40×28×18mm + 20g

本商品は予告なく仕様の変更をすることがあります。

オプションパーツ（価格は変更する場合があります）

C4257 ゴールドコネクタ メス 4個入	¥1,000
C4258 ゴールドコネクタ オス 3個入	¥800
C1749 高効率タイプヒートシンク	¥1,200

コンピュータ接続用（右はコンピュータ画面）	
PCインターフェース & ソフトセット	¥6,800



本取扱説明書の文章、図等の著作権はパワースにあり無断転用、使用等することは出来ません。



総販売代理店
Powers Japan
〒340-0815 埼玉県八潮市八潮 7-29-16
tel 0489-98-5438 fax 0489-98-5455



ROCKET MAX

Digital Power Control System



取扱説明書

この度はCS ROCKET MAXを
お買い上げいただきありがとうございました。

ROCKET MAXは大好評のROCKET 2000にさらなる改良を加え、より実践的で広範囲な特性可変ができる高性能コントローラーです。ROCKET MAXは23TからNi-MHバッテリーで主流になるシングルターンまでの広範囲のモーターに完全対応します。



危険警告

下記の注意に反した使用による、故障や事故等についてはいかなる保証も致しかねます。この注意を無視して誤った取扱いをすると、人的障害や物的損害が生じる危険があります。

本商品はラジコンプロ専用スピードコントロールアンプです。その他の目的に使用してはいけません。

本体電源には、電動ラジコン専用バッテリー以外は使用してはいけません。

バッテリー側、モーター側共に、接続コードの+、-を正しく接続すること（+は赤、-は黒コード）また各部コネクタは奥までしっかり差込むこと。

使用可能電圧以上の高電圧で使用してはいけません。

モーターチェッカー等を使用する場合は、必ずモーターコードを外すこと。

機器本体を分解や改造したり、コードを切断して使用してはいけません。

本商品は防水性ではありません、本体を濡らし濡れた手で操作すると感電したり、破損する危険があります。

本体及びバッテリー等は使用中、使用直後は発熱していますから、火傷等に十分注意すること。

本商品をご子供に使用させてはいけません。また、いかなる場合も幼児や子供の触れる可能性のある場所に置いてはいけません。

モーターの劣化は故障の原因になるので、モーターのメンテナンスには常に十分注意すること。

各注意、説明に反した誤った設定や、不適切な取扱で起きた結果については、当社は一切責任を持ちません。

接続した受信機、モーター、電池の不良等を原因として起きた各種損害については、当社は一切責任を持ちません。

ROCKET MAX 各部の名称

各部の配線、接続、設定につきましては説明書内の各該当部をご覧下さい。



付属品

* パッケージ内に上記アイテムが全て入っているか確認下さい。

主な特徴

- パワー特性切替

パワー特性はドライブ周波数の切替だけではなく、パワーカーブを組合せた総合的な設定が特性されており、3タイプから自由に選択できます。

ハード-----周波数 1.3KHz+ クイックカーブ、540や 23T向けのパワフルセットです。
 リニア-----周波数 2.6KHz+ リニアカーブ、自然な特性で一般的なアンプ特性です。
 ソフト-----周波数 4.7KHz+ マイルドカーブ、低ターンモーター向け特性です。

- 別売の PC インターフェイスを接続する事により、各機能とドライブ周波数の設定やグラフによる視覚的に理解しやすいパワーカーブの設定が可能となります。
作成したデータはパソコン上で管理できます。(アンインストール付き)
- * コンピュータ接続用 PC インターフェイス & ソフトセット 定価 ¥6,800

- 自動可變周波數 (AFC) 世界唯一

アンプの特性を大きく左右するのがドライブ周波数です。この周波数を実車の電子制御 AT の様に自動コントロールします。動作はトリガーを素早く引く程、周波数が低くなりゆっくりと引く程、周波数は高くなります。つまりトリガーの引き方でフィードリングを制御できるのです。この機能は ON-OFF が可能となり、ピュアなフィードリングも選択できます。

● パワー コントロール

一般にアンプではパワーコントロールを電流制限（カレントリミッター）で行っています。この方式はモーターの種類やギヤ比、コンディションにより再調整しないと均一な効果を維持できない欠点がありました。ROCKET MAXはパワー出力の変化スピードで制御します。この為にモーターの条件が変化しても再調整の必要がなく安定して使えます。設定数値は 0~ 71で、数値が多い程パワーセーブされます。

- オートブレーキ

ニュートラル時にブレーキがかかるドラッグブレーキ機能です。
設定数値は「0～7」、0で解除、数値が大きくなる程ニュートラルブレーキは強くなります。4WDのバギーに有効です。

- オートラン

ニュートラル時に完全パワーOFFにしないで、ごく僅かな電流を秒間モーターに流します。これはスパーとピニオンの摩擦を低減し、パワーONの時の急なトルク伝達を軽減します。滑りやすい路面での2WDカーに有効です。

- ブレーキパンチ

ブレーキの効き始めの強さを調整出来ます。走行中にトリガーを大きくブレーキ側に操作しなくてもブレーキを素早く効かせる事ができます。設定数値は「0~ 7」、数値が大きい程ブレーキの初期は強くなります。

P-1



- ケース下側のアルミ部を電池やカーボンに直接触れない様に両面テープを2枚以上重ねて搭載します。
- ケース下部はヒートシンクですので、両面テープは全面に貼るより、列に分けて貼り下部に空気が流れる様にして下さい。
- 受信機のアンテナ線は、アンプ、電池、シリコンワイヤー等から出来るだけ離して下さい。
- モーターのコンデンサーが取付けてあるか確認して下さい。
- 走行で受信機がノイズを受ける時はアンプのバッテリー端子のプラスとマイナス間に付属のパワーキャパシターを付けて下さい。
(白ライン側が - です)

パワーキャパシター



- ワイヤーのマイクロコネクターは接続ミスを起こし易いので注意して下さい。逆接しますとパワー部のユニット交換修理となり、高額の修理になりますので特に、ご注意ください。
- 走行しない時や保管中は必ず電池をはずして下さい。

- 走行しない時や保管中は必ず電池をはずして下さい。

ニュートラル等の設定方法

- セットアップボタンを押しながらSWを入れるとLED中央の [] が点滅します。ボタンを離れた時にニュートラルが設定されます。
- 次に LED 上部の [] が点滅しますのでトリガーをフルスロットレにしてボタンを押します。この時に最高速ポイントが設定されます。
- 次に LED 下部の [] が点滅しますのでフルブレーキにしてボタンを押します。この時に最大ブレーキポイントが設定されます。
- 設定が完了するとLED右下の小数点が点滅します。それ以降は電源 ON で、常に小数点は点滅しています。トリガーを操作するとLEDの [] が上下対応して、点灯します。ニュートラル時の表示はありません。

●ダッシュモード

トリガーをブレーキ側に 秒間操作すると LED 中央の [] が点灯状態になり、スタートダッシュモードに入ります。その後のスロットル操作は全て 230 Hz という最大 パワー周波数に固定されます。トリガーをフルスロットルにするまでダッシュモードは 解除されません。

- FETは最新の面実装タイプを使用しています、重要な電流回路補強は一般的なプレートハンダ付けする方式とは異なり、厚手の削出し銅板（カップパー）のプレートにFETを直接、赤外線炉にて自動ハンダ付けする世界唯一の工法で製造されて おります。このため電流ロスにおいては、パーフェクトな方式で抵抗ロス分は一般 製品の比ではありません。
- ケース下部にマイクロアンプ最大の面積を誇るヒートシンクを装備、日本の酷暑でも 全 問題ありません。
- シリコンワイヤーはゴールドマイクロコネクターにて脱着が可能です。このコネクター は各国の有名メーカーやチームでも採用され、今後の主流 となるでしょう。

アンプの配線

- シリコンワイヤーをマイクロコネクタに半田付けします。
(マイクロコネクタは 3ヶ入スペアパーツもございます)
- 受信機接続用コネクタコード
コネクタは双葉タイプとなっています。他社への接続の時は十分に極性を確かめて配線して下さい。(赤 -プラス 黒 -マイナス 白 信号)
配線ミスは受信機とサーボを破損させます。
- マイクロコネクタの挿入スロット(接続ミスにご注意下さい)
赤 -- バッテリーのプラスとモーターのプラス
青 -- モーターのマイナス
黒 -- バッテリーのマイナス

使用上 / シャーシ搭載上の注意

- モーターのエンドベル端子に付属のショットキーダイオードを必ず取付けて下さい。
(ダイオードの白ライン側がモーター プラス側、反対側をモーター マイナス側にハンダ付します)
ショットキーダイオードはモーターの効率UPとノイズ輻射の低減、そしてアンプの破 損防止に役立ちます。



P-2

- 各機能の設定

各機能の設定変更は受信機コネクターを抜いて電池だけ接続した状態でも可能です。セッティングボタンを一回短く押すと下表のように4ステップにLED表示が自動で変わります。LEDがそのステップを表示している時に、さらにボタンを押すとその表示する機能の数値や記号を変更できます。

表示 ステップ	1	2	3	4
表示 内容	パワーエント ロール設定	ニュートラル時の状態設定 及び AFC ON-OFF	ブレーキ パンチ設定	パワー特性切換
LED 表示	[0] ↓ ↓ ↓ ↓ [7]	[] オートラン ON, AFC-ON ↓ [] ノーマル, AFC-ON ↓ [] オートブレーキ ON, AFC-ON ↓ [] オートラン ON, AFC-OFF ↓ [] ノーマル, AFC-OFF ↓ [] オートブレーキ ON, AFC-OFF	[0] ↓ ↓ ↓ ↓ [7]	[H] リニア ↓ [] ハード ↓ [] ソフト ↓ [I I] コンピュータ ソフトで使用 (ソフトリ)

- * オートブレーキ ON時はブレーキパンチ設定で選択した数値の強さでオートブレーキがかかります。
- * 各ステップの表示は順送りにスクロールします。
- また、ご使用始めの表示が上記＜LED表示＞の最上段の表示と同じとは限りません。